

# 空間デザイン通信

2024  
VOL.29  
SUMMER



VietNam Special

## ベトナムで社員の結婚式に出席、足を伸ばして世界遺産レポート



HappyWedding!

### 結婚式 200名の大イベント！

社員の THANH TRUNG NGUYEN (タン・チュン・グエン)さんの結婚式に参加しました。結婚式は、タンさんの実家、フエ郊外の農村の農家で行われました。結婚式はその前庭に仮設テントを建て、プロの司会者・カメラマン・生バンドがつき、総勢 200 人以上の近隣の人が参加する大イベントでした。ベトナムではこの規模は普通で、500 名規模のもっと大きな結婚式もあるそうです。結婚式はケーキ入刀、シャンパンタワーにシャンパンを注ぐなどの儀式後は、両家・友人の大カラオケ大会となり、その間に両人は各テーブルを回り挨拶をし記念写真撮影、皆様飲み食いした後、それぞれ帰っていくという結構フランクな感じの結婚式でした。



ベトナムの結婚式は、かなり大規模に行われるので、厳しい決め事もなくみんなで新郎新婦を楽しく盛り上げます。阿部も壇上で祝福しました



VietNam

### フエ建造物群 ベトナム初の世界遺産！

古都フエは、同国最後の王朝・グエン朝が築いた町で、ベトナム初の世界遺産です。ダナンからバスで約 3 時間です。グエン朝は、当時内乱が続いていた国内を、フランスの援助で統一した功績により創建されました。以後、フランスによる植民地化や、第二次世界大戦など動乱の時代を迎えながらも 19 世紀から 20 世紀にかけて約 140 年もの間、覇権を握りました。中国の紫禁城をモデルにしたグエン朝王宮、モザイクが美しいグエン朝 12 代皇帝カ



イディン帝廟、グエン王朝で最長のグエン朝王宮  
在位期間を誇る第 4 代皇帝トゥドック帝陵など、歴史ある建造物がフォン川沿いに点在しています。それぞれが広大な敷地で、1 日では回り切れません。今回は、旧市街に位置する「グエン朝王宮」を見学しました。堀から細い橋を渡り城壁に囲まれた王宮内に入ると一番先に見えるのが、壮麗な中華様式の楼閣の「午門」です。中央に黄色、両サイドに緑色のカラフルな瓦をまとった楼閣はガイドセンターにもなっています。なおガイドさんはベトナム語・英語・フランス語など、日本語ガイドさんはいませんでした。鮮やかな朱色の柱と黄金の装飾が美しい「回廊」には様々な展示があり、その歴史を歩きながら学ぶことができ、フランスの支援で復旧工事が完成した「建忠殿」は外壁全面モザイクタイルでまばゆいけれどちょっと不思議な感じでした。全体を通して特に焼き物(タイル)の装飾や、カラフルな色彩が印象的でした。



### ミーソン遺跡 密林のヒンドゥー遺跡

ミーソン遺跡は、1999 年に世界遺産に指定されました。ダナンからバスで約 2 時間の山の中の盆地です。4~13 世紀、ベトナム南部はヒンドゥー教のチャンパ王国が支配していました。その王の聖地として発展したミーソンは、没後無人の廃地となり、時を経るにつれ、全く忘れられて密林になっていました。フランス植民地時代、フランス人歴史学者が、「山の盆地にかつて聖地があった」という伝説をもとに調査に入り、聖地を発見しました。インディジョーンズみたいな話ですね。最近の世界遺産らしく、聖地は駐車場・入口から離れており、聖地まで電動カートで5分ほど移動します。残念ながら遺跡は、インドシナ戦争時の盗掘・盗難とベトナム戦争の空爆により破壊され、完全な形ではありませんが、そのレリーフなどに十分にヒンドゥー文化を感じることができます。現在インドの支援により、発掘や修復が行われていました。観光地もない熱帯雨林がうっそうと茂るジャングルの中のヒンドゥー文化遺産で、あまり観光客はいないのでゆっくり見学できました。



レンガ造りの遺跡群



密林に忽然とあらわれる遺跡群は必見

### ホイアン 東南アジア屈指の夜景

ダナンからバスで約 4 時間、フエとは逆に南に下っていくと、港町ホイアン旧市街です。世界遺産ですが、日本でいう「伝統的建造物群保存地区」のような感じの観光地です。特に昼間より夕方から夜にかけて、トゥボン川沿いにライトアップされた街並みとランタンを付けた観光船が美しいです。ただし街は観光客で大変混雑していて、歩くのも大変でした。福建省出身の華僑によって建てられた福建会館で、巨大な渦巻型の線香をささげ、会社の繁栄を祈願しました。



巨大な渦巻き線香に火を灯す谷口取締役



東南アジア屈指の美しい夜景



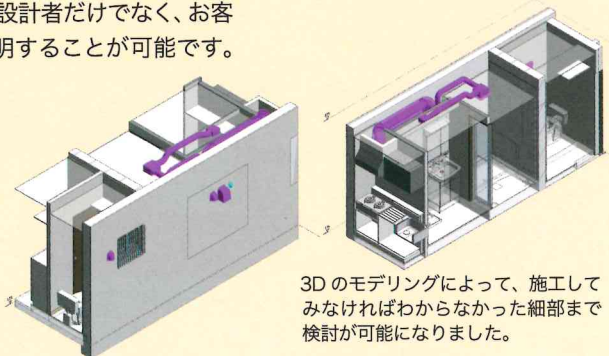
どこか懐かしいホイアン旧市街。16世紀には日本人街もありました



# BIM ソフトウェアを活用してベトナムとの距離を感じさせない設計業務が可能になりました

設計

ベトナム子会社では、日本の担当者と共に、BIMソフトウェア「Revit」を活用して、意匠や設備、構造を3次元でモデル化する図面作成を行っています。Revitを使用することで、イメージ資料やダクト、配管など、実際には見えない部分の納まりも詳細に確認できるようになり、設計者だけでなく、お客様にも視覚的に説明することが可能です。この取り組みにより、打ち合わせがスムーズに進み、プロジェクトの効率も向上しています。また、空間デ

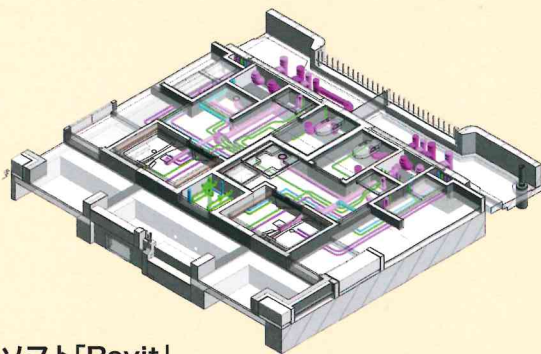


3Dのモデリングによって、施工してみなければわからなかった細部まで検討が可能になりました。

ザインにとどまらず、日本国内の設計会社からの依頼も増加しており、ますますその役割の重要性を感じ始めました。デジタル化が進んでいるベトナムで、さらなる最新の技術を取り入れながら設計品質の向上に取り組んでいきます。



(渡邊)



## BIMソフト「Revit」

BIMソフトとは、建築物を3D空間で構築し、設計・施工・維持管理などあらゆる建築フローを一元管理するソフトウェアのことです。BIMソフトであるRevitは、建築分野だけではなく土木分野の構築物の設備や配管などもモデリングできることが特徴で、平面図、立面図、断面図が自動的に作成されます。複数の専門分野チームと連携ができるので、日本とベトナムで、効率的に業務を行うことができます。

庁舎探訪

## 学ぶべきことが多い各庁舎の建築

現在、東京の自治体様への挨拶回りを実施しております。そこで、いくつかご訪問した庁舎建築をご紹介します。

### 練馬区役所

メインロビー部分です。ホテルのような高貴な印象を受けます。採光と高い天井が相まって、明るく開放的な空間です。他にもロビー部分は、吹抜けや天井を高くしている庁舎が多数あり、来庁者を明るく迎えられる空間として機能しています。



練馬区役所の開放的なメインロビー



湾曲が美しい荒川区役所

### 荒川区役所

建物全体が湾曲した美しい外観が特徴的です。また、1階の正面玄関口まで車寄せのあるバリアフリー設計です。竣工から60年近く経つ庁舎は現在建替の計画を進めているとのこと。今のうちに目に焼き付けておきたいです。



けやきのルーバーが特徴的な清瀬市役所

### 清瀬市役所

市の木であるケヤきのルーバーが特徴的です。全体的に窓が多いですが、窓面を後退させてルーバーを設置することで省エネ化を図っていることがわかります。内観は、外からの光が入り明るい空間となりました。地域の方がひと休みする様子も見られました。

現在、建て替えを進めている庁舎もありましたが、昔ながらの重厚感と存在感のある大胆な建物も魅力的です。比較的新しい庁舎は、ランドスケープで周囲との調和を図り、外観は省エネを考えた設計、内観は明るく、地域の方が気軽に訪れる場所として機能していることが分かりました。これから生まれ変わっていく庁舎がとても楽しみです。



(檜垣)

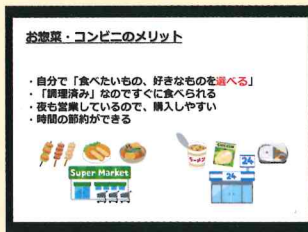
セミナー

## 健康に留意したコンビニ食の選びかた

株式会社 COSPA ウエルネス様より健康講座「コンビニや外食の上手な活用術」として、テイクアウトや外食の利点（時間の節約、調理済みなど）と注意点（塩分、カロリーの多さ）についてご説明いただきました。

近年テイクアウトや配達などが更に便利となり、総菜やお弁当を利用する機会が増えています。慌ただしい日々の中で、総菜やレトルト・インスタント食品は非常に有効ですが、カロリーや塩分の取りすぎになる傾向があります。そこで、迷った時は栄養表示を見比べカロリーが少ない方を選ぶ、外食時に手に取った食品の成分表示を見るなど、少しの意識の変化で摂取カロリーや塩分の取りすぎを緩和できるとのことでした。

便利になった食事環境の中で、カロリーが低くても塩分量は多いかも？野菜がたくさん取れると謳っていても糖質は多いかも？と立ち止まって確認し、上手に選び健康志向への第一歩にしたいと思います。



現代人に欠かせないコンビニだが...



(都澤)



## 新入社員紹介

# レイワンビン

LE QUANG VINH

こんにちは。ビンと申します。空間デザインのベトナム子会社で、建築設計業務を1年間体験できました。今回、東京事務所に移動する機会を頂き、日本の建築設計仕事も体験してみようという気持ちを持ちながら、ベトナムで取得している経験を活かし、新しい仕事の環境を楽しみたいと思います。





全体  
研修

# 今年の全体研修は、ポリテクセンター関東で行い、建築設備の講義もあり、充実した研修でした

毎年、9月の創立記念日に全社員が一堂に会して行っている全体研修ですが、今年は春に開催しました。

デジタル技術が進歩する世の中だからこそ、社内コミュニケーションの活性化を強化する狙いです。また、横浜のポリテクセンター関東にて建築設備についての講義を受講し、建築知識を深められるプログラムも用意しました。

まずは例年通り、中小企業家同友会による経営指針を実践するためのツール「企業変革支援プログラム」を用いて、会社の在り方について談義する時間を設けました。今回はプログラムの中から、「自社のサービスと既存・新規市場への方針」の項目を抜粋。事前アンケートで、社員の認識に「関わっている業務がどのように市場へアプローチしているのかわかりにくい」というような迷いが見られたためです。



研修会場の横浜のポリテクセンター関東

そこで、社長が弊社の事業方針について改めて説明する時間を設けました。その上で、グループに分かれてディスカッションを行い、さら

なる質問や感想を書き出して、全員で意見を共有しました。社長と社員同士、互いの考え方への理解が深まったように感じます。目まぐるしく変化する情勢に、会社も対応しなければなりません。社員を置き去りにしては元も子もありません。ひとつひとつ疑問を解消していき、みんなで同じ方向を目指し進んでいきたいと思えます。

そして、建築設備についての講義へ。弊社は意匠設計の業務が主軸となっていますが、これには、構造や設備などの知識も必要です。今回は給排水衛生設備についての内容を取り上げました。

ポリテクセンターは、就業支援として技術者の育成を行っているため、施設内の配管が見学出来たり、実物を扱える実習室が備えてあるなど、施設が充実しています。講師の説明を聞きつつ、手元の図面と実物を照らし合わせてセンター内を見学しました。途中、先輩社員が後輩社員にレクチャーする場面が



実際の給排水衛生設備を使っただけの説明も多く、大変理解しやすかったです。

見られたりと、和気あいあいとした雰囲気です、研修を進めることが出来ました。

日帰りの研修だった為、目一杯に詰め込んだスケジュールに一同へとへとでしたが、充実した一日となりました。

次回は、9月の予定です。ただ今絶賛準備中！練りに練ったプログラムで、働きやすい会社へと成長してゆきます。



(檜山)

認定

## 「海外戦略策定セミナー」のパネリストで弊社阿部が登壇

東京都中小企業振興公社主催の海外戦略策定セミナーに、阿部がパネリストとして登壇しました。ディスカッションテーマは、海外事業の進出前と進出後の変化や都公社の支援をどのように活用したかです。阿部は、「日本」というブランド力を実感したことや、「暗黙の了解」が通じないことを実感したと話し、頭では理解していたものの、実際に経験することでその重要性を感じたと述べていました。

私達社員の印象は…進出前はコロナ禍でテレワークが主流だったため、多くの社員が準備が進んでいることに気付かず、突然の進出に驚き「本当だったんだ！」と社員がつぶやいていたのが印象的でした。今では国際化の波に乗り、外国語に触れる機会も増え、島国根性脱出です！！



(相原)



アセアン進出には、公社からのさまざまな支援もありますので、まずは相談してみましょ



## 建築探訪

### シックランド ダナンビーチ ホテル (ベトナム・ダナン)

ベトナムの子会社出張の際、シックランドダナンビーチホテルに泊まりました。設計は日本に建築留学し、内藤廣さんの元で建築を学び、その後ベトナムに戻った建築家 Vo Trong Nghia (ヴォーチョンギア) さんの設計です。コンパクトなホテルですが、竹のデザイン、コンクリート打放し、壁面緑化で、ダナンのコミューンビーチに面したホテル群でも目を



ビーチ沿いで一際目立つ外観



竹を使ったエントランスカフェ



素晴らしい見晴らしのプール

引くホテルです。エントランスカフェの竹を生かしたデザイン、素焼きタイルを生かしたダイニングスペースなど、現地の高価でないありふれた天然素材をうまく生かしたデザインは、視線が外国人目線であり、意識高い系の観光客には気に入られるデザインです。清潔で心地よく、最上階には、インフィニティプールとサイドバーもあります。ダナンにお越しの際は是非泊まってください！！



(阿部)



## セミナー 建築のプランニングの重要性を学びました

5月下旬に、大学で教授もされている岩田氏（岩田建築設計事務所）を講師としてお招きし、「プランニングを考える（全3回）」をテーマに、空間デザインセミナーをzoomにて行いました。第1回の今回は、名建築や建築家、建築の歴史などを、「プランニング」という観点から紐解き、ご解説いただきました。普段の実務とは少し違った観点で見る建築は、とても新鮮で、他の社員とも「大学の講義を受けさせてもらっているようで楽しい」と、盛り上がりました。

講義の後半では、有名な近代建築や日本建築のプランニングが、どのように考えられているのか、実際にそこに人が住み、利用されて、どう評価されているのか等、より身近な建築の話も伺うことが出来ました。個人的に興味深かったのは「金沢21世紀美術館」について。通常、動線計画が綿密になされる美術館において、空間と空間をつなぐルートを決めず、まるで街を散歩するように自由な道順で美術鑑賞ができるようになっているのだそうです。おそらく少し迷子になったり、同じところを巡ってしまったりするかもしれませんが、それがまた新しい美術的発見に繋がったりするのかもしれないと興味深かったです。「金沢21世紀美術館」は以前行ったことがありますが、この講義を受けた今、もう一度行ってその感覚を確かめてみたいです。

今回は概念的な話でしたが、次回以降は実践記にプランニングを考えるとのことで、楽しみにしています。また、学んだことを少しずつ設計に活かして行きたいと思います。



(岩田)

## 六本木「ミスディオール展覧会」内覧レポート！

六本木ミュージアムで開催された「ミスディオール展覧会」（6月16日～7月15日）に行ってきました。ファッションブランドなので、ドレスや小物などの展示物はもちろん素晴らしいのですが、建築家の重松象平氏が担当したその世界観を表現する空間デザインが、とにかく素敵でした。例えば、フレグランスを楽しむシアーな布で飾られた空間やブランドの歴史にワープするような通路、内装すべてにブランドロゴがプリントされた部屋など。スペース自体はあまり大きくないものの、各展示室にコンセプトがあり、移



会場に入ると異なる空間が続くユニークな体験に圧倒されました

動するたびに強烈な印象を与られます。他の来場者もめいめい写真を撮ったり（基本的に撮影OKだったのです）、「映え」の空間を楽しんでいる様子が伺えました。

正直なところ、私はブランドにあまり明るくありませんが、魅力ある空間たちにとても感動しました。これからも先入観にとらわれず様々な展示会やイベントに参加したいです。



(八田)



香水のディスプレイも息を呑む美しさ

## ご近所 大阪本社にも本の寄付BOXを設置

事務所のすぐ近所にある一般社団法人ユニオンブックスさんが、寄付ボックスを持って訪ねて来て下さったご縁で、大阪本社にも設置することになりました。ユニオンブックスさんは障がいを持つ方の社会参画を目的とし、古本を通じて社会貢献されている団体です。私たちの読み終わった本が地域の事業所さんを支援し、事業所さんが就業を目指す人を支援し、就業して社会参画された人は社会に貢献する、という地域に根差した社会貢献の輪を継続していきたいと思ひます。



大阪本社にお越しの際は、読み終わった本をぜひお持ちください！



(中尾)

## 編集後記

7月の平均気温は過去最高を記録し、地球温暖化を実感する夏でした。パリオリンピックでは、再生可能エネルギーの活用や使い捨てプラスチックの削減など、気候変動問題に積極的な取り組みが行われ、環境意識が高まりました。持続可能な社会の実現に向けて、私達も身近なことから行動を起こしていきたいと思ひます。



(石橋)

## 空間デザイン通信 29号 2024年8月発行

### 大阪本社

〒564-0062  
大阪府吹田市垂水町 3-24-1  
シンプレス江坂 402  
TEL.06-6192-8751  
FAX.06-6192-8752

地下鉄御堂筋線「江坂駅」北口下車。東に徒歩5分。大同生命ビルと江坂公園を通り抜けたらすぐです。



### 東京事務所

(移転しました)  
〒170-0005  
東京都豊島区南大塚 3-12-9  
喜多ビル5階  
TEL.03-5980-8535  
FAX.03-5980-8536  
(TEL・FAXは変更ありません)

